

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 20 年 3 月 27 日 (2008.3.27)

【公開番号】特開 2006-259213 (P2006-259213A)
 【公開日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-038
 【出願番号】特願 2005-76392 (P2005-76392)
 【国際特許分類】

G 1 0 H 1/18 (2006.01)

G 1 0 H 1/24 (2006.01)

G 1 0 H 7/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 H 1/18 Z

G 1 0 H 1/24

G 1 0 H 7/00 5 1 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 2 月 6 日 (2008.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の鍵から成る鍵盤と、

1 つの音色について上記鍵盤に対する波形データの割当て状態を表わす波形割当て画面を表示する画面表示手段と、

上記波形割当て画面の表示に対応してモード設定操作が可能となる第 1 乃至第 3 の操作手段と、

第 1 の操作手段の操作に応じて波形選択モードを設定する波形選択モード設定手段と、

上記波形選択モードにおける上記鍵盤の鍵操作に応じて、操作された鍵に割り当てられている波形データを割当て編集対象として選択し、選択された波形データの割当て状態を編集可能とする波形選択手段と、

第 2 の操作手段の操作に応じて最低鍵選択モードを設定する最低鍵選択モード設定手段と、

第 3 の操作手段の操作に応じて最高鍵選択モードを設定する最高鍵選択モード設定手段と、

上記最低鍵選択モード或いは最高鍵選択モードにおける上記鍵盤の鍵操作に応じて、それぞれ、操作された鍵を、上記選択中の波形データが割り当てられている鍵域の最低音高鍵或いは最高音高鍵に設定する鍵域設定手段であって、当該最低音高鍵或いは最高音高鍵は、他の波形データについて既に設定されている鍵域には重複して設定されることがないものと

を具備することを特徴とする電子楽器。

【請求項 2】

前記表示手段により表示される割当て状態は、波形データを指示する波形名情報及び当該波形データが割り当てられている鍵域を表わす鍵域情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の電子楽器。

【請求項 3】

複数の鍵から成る鍵盤及び第 1 乃至第 3 の操作手段を具備し電子楽器として機能するコンピュータに、

1 つの音色について上記鍵盤に対する波形データの割当て状態を表わす波形割当て画面を表示する画面表示ステップと、

上記波形割当て画面の表示に対応して第 1 乃至第 3 の操作手段によるモード設定操作を可能とする操作可能化ステップと、

第 1 の操作手段の操作に応じて波形選択モードを設定する波形選択モード設定ステップと、

上記波形選択モードにおける上記鍵盤の鍵操作に応じて、操作された鍵に割り当てられている波形データを割当て編集対象として選択し、選択された波形データの割当て状態を編集可能とする波形選択ステップと、

第 2 の操作手段の操作に応じて最低鍵選択モードを設定する最低鍵選択モード設定ステップと、

第 3 の操作手段の操作に応じて最高鍵選択モードを設定する最高鍵選択モード設定ステップと、

上記最低鍵選択モード或いは最高鍵選択モードにおける上記鍵盤の鍵操作に応じて、それぞれ、操作された鍵を、上記選択中の波形データが割り当てられている鍵域の最低音高鍵或いは最高音高鍵に設定する鍵域設定ステップであって、当該最低音高鍵或いは最高音高鍵は、他の波形データについて既に設定されている鍵域には重複して設定されないものと

から成る手順を実行させる波形割当てプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

電子楽器の鍵盤には、例えば 61 鍵というような多数の鍵が備えられ、例えば、ドラム音色のように、異なる波形データが各鍵 1 つずつに割り当てられていると、波形データの選択肢もその鍵数だけあるため、目的の波形データを見つけるのが容易ではない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明の 1 つの特徴に従うと、複数の鍵 (C1 ~ C6) から成る鍵盤 (14) と、1 つの音色〔第 1 ピアノ音色、ドラム音色など ([0041)]〕について鍵盤 (14) に対する波形データの割当て状態 (Aw) を表わす波形割当て画面 (We) を表示する画面表示手段 (16; S0) と、波形割当て画面 (We) の表示に対応してモード設定操作が可能となる第 1 乃至第 3 の操作手段 (DRw, DRs, DRe; S0) と、第 1 の操作手段 (DRw) の操作に応じて波形選択モードを設定する波形選択モード設定手段 (S4) と、波形選択モードにおける鍵盤 (14) の鍵操作に応じて、操作された鍵に割り当てられている波形データを割当て編集対象として選択し (Se1)、選択された波形データの割当て状態を編集可能とする波形選択手段 (S10) と、第 2 の操作手段 (DRs) の操作に応じて最低鍵選択モード (スタートキー選択モード) を設定する最低鍵選択モード設定手段 (S6) と、第 3 の操作手段 (DRe) の操作に応じて最高鍵選択モード (エンドキー選択モード) を設定する最高鍵選択モード設定手段 (S8) と、最低鍵選択モード或いは最高鍵選択モードにおける鍵盤 (14) の鍵操作に応じて、それぞれ、操作された鍵を、選択中の波形データが割り当てられている鍵域の最低音高鍵 (スタートキー) 或いは

最高音高鍵（エンドキー）に設定する鍵域設定手段（S10）であって、当該最低音高鍵（スタートキー）或いは最高音高鍵（エンドキー）は、他の波形データについて既に設定されている鍵域（スタートキー～エンドキーの範囲）には重複して設定されることがない（[0049]）もの（S10）とを具備する電子楽器（コンピュータ）〔請求項1〕が提供され、複数の鍵（C1～C6）から成る鍵盤（14）及び第1乃至第3の操作手段（DRw, DRs, DR e）を具備し電子楽器として機能するコンピュータに、1つの音色について〔第1ピアノ音色、ドラム音色など（[0041]）〕鍵盤（14）に対する波形データの割当て状態（Aw）を表わす波形割当て画面（We）を表示する画面表示ステップ（S0）と、波形割当て画面（We）の表示に対応して第1乃至第3の操作手段（DRw, DRs, DR e）によるモード設定操作を可能とする操作可能化ステップ（S0）と、第1の操作手段（DRw）の操作に応じて波形選択モードを設定する波形選択モード設定ステップ（S4）と、波形選択モードにおける鍵盤（14）の鍵操作に応じて、操作された鍵に割り当てられている波形データを割当て編集対象として選択し（Se1）、選択された波形データの割当て状態を編集可能とする波形選択ステップ（S10）と、第2の操作手段（DRs）の操作に応じて最低鍵選択モード（スタートキー選択モード）を設定する最低鍵選択モード設定ステップ（S6）と、第3の操作手段（DR e）の操作に応じて最高鍵選択モード（エンドキー選択モード）を設定する最高鍵選択モード設定ステップ（S8）と、最低鍵選択モード或いは最高鍵選択モードにおける鍵盤（14）の鍵操作に応じて、それぞれ、操作された鍵を、選択中の波形データが割り当てられている鍵域の最低音高鍵（スタートキー）或いは最高音高鍵（エンドキー）に設定する鍵域設定ステップ（S10）であって、当該最低音高鍵（スタートキー）或いは最高音高鍵（エンドキー）は、他の波形データについて既に設定されている鍵域（スタートキー～エンドキーの範囲）には重複して設定されることがない（[0049]）もの（S10）とから成る手順を実行させる波形割当てプログラム〔請求項3〕が提供される。なお、括弧書きは、理解の便のために付記した実施例の対応する参照記号等を表わす。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この発明による電子楽器（コンピュータ）では、1つの音色（第1ピアノ音色、ドラム音色など）について、鍵盤（14）の1乃至複数の鍵から成る鍵域に対する波形データの割当ての編集を行う際に、波形データの割当て状態（Aw）を画面（We）に表示し、この波形データ割当て状態（Aw）の表示に対応して、第1乃至第3の操作手段（DRw, DRs, DR e）によるモード設定操作が可能となる（S0）。ここで、第1の操作手段（DRw）のユーザ操作に応じて波形選択モードが設定され（S4）、この波形選択モードにおいて鍵盤（14）の鍵操作がなされると、当該操作鍵に割り当てられている波形データが選択され（Se1）、選択された波形データの割当て状態が編集可能となる（S10）。また、第2或いは第3の操作手段（DRs, DR e）のユーザ操作に応じて最低鍵選択モード（スタートキー選択モード）或いは最高鍵選択モード（エンドキー選択モード）が設定され（S6, S8）、最低鍵或いは最高鍵選択モード（スタートキー或いはエンドキー選択モード）において鍵盤（14）の鍵操作がなされると、それぞれ、当該操作鍵が、現在選択中の波形データに関する鍵域の最低音高鍵（スタートキー）或いは最高音高鍵（エンドキー）に設定され、その際、他の波形データについて既に設定されている鍵域（スタートキー～エンドキーの範囲）には重複して設定することができない（S10, [0049]）。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

つまり、この発明によると、1つの音色（第1ピアノ音色、ドラム音色など）について波形データの割当て編集を行う際、第1の操作手段（D R w）の操作に基づく波形選択モードにおいて、鍵盤の任意の鍵を操作すると、当該操作鍵に割り当てられている波形データを選択状態とするようにしているので、鍵盤の各鍵に割り当てられている目的の波形データを割当て編集の対象として簡単に選択することができる共に、選択状態にある波形データについては、割当て状態を変更したり割当て対象から消去したり等の編集作業を行うことができる。特に、割当て状態の変更については、第2或いは第3の操作手段（D R s , D R e）の操作に基づく最低鍵或いは最高鍵選択モード（スタートキー或いはエンドキー選択モード）において鍵操作を行うだけで、容易に、当該操作鍵を現在選択中の波形データに関する鍵域の最低音高鍵（スタートキー）或いは最高音高鍵（エンドキー）に設定することができる。また、その際、他の波形データについて既に設定されている鍵域（スタートキー～エンドキーの範囲）には重複して設定することができない。